学校番号	２１３

平成３１年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活産業基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新版　家庭基礎　　（第一学習社）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活の関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・生活に関する様々な現象や課題を、理解を深め知識を身につけます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活を目指します。

２ 学習の到達目標

衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業への関心を高め、必要な知識と技術を進んで習得し活用する意欲と態度を育てる。

３ 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	衣食住について関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	衣食住について生活の充実向上を図るための課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	衣食住に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	衣食住に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 定期考査の結果等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作品、調理計画、製作計画、実習記録表等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	衣生活	○人と衣服のかかわり ○衣服の機能 ○衣服の素材 ○衣服の手入れ ○家庭での洗濯・保管 ○被服製作実習 ＊ティッシュカバー製作	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:被服の機能と着装、人間と被服との関わりについて考えようとし、衣生活を自ら管理する知識と技術を身につけようとしている。 b:被服材料、被服の構成、サイズの適切な選択について、考え工夫している。組成表示、取り扱い絵表示などに基づき、被服材料の性能や被服の構成に適した洗濯について考え、適切に考えることができる。 c:被服の入手、洗濯、保管などの衣生活が管理できる。被服製作実習を通して基本的な裁縫の技術を身に付けている。 d:被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について科学的に理解している。	授業観察 プリント 実習記録表 製作物 定期考査
2学期	食生活	○栄養素と消化・吸収 ・炭水化物 ・脂質 ・たんぱく質 ・無機質 ・ミネラル ○食の安全 ・食中毒 ・食品添加物 ○被服製作実習 ＊刺し子のランチョンマット製作	○	○ ○	 ○ ○	○ ○	a:食事の役割や栄養素の種類と機能について前向きな学習態度で取り組んでいる。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:主体的に食生活を営むために必要な情報を収集、整理することができる。被服製作実習を通して基本的な裁縫の技術を身に付けている。 d:毎日の食事が健康と深く関わっていることを理解している。食品の腐敗、食中毒、食品添加物などについて理解している。	授業観察 プリント 実習記録表 製作物 定期考査

3 学 期	住 生 活	○世界と日本のすまい ○住まいの選択 ○住環境の整備 ○住空間の設計 ＊平面図の計画	○ ○	○ ○	 ○ ○	 ○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活の関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:気候や風土に応じた各地域の住居の特徴や変遷について考え、まとめたり、発表したりしている。住居と家族の、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:住生活の計画や選択に必要な情報を収集・整理することができる。住居の平面図やインテリアデザインなどができる。 d:住居の機能、住環境などについて理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント 製作物 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。